

# 小中高校生の吃音のつどい ホームページご案内



## ●NHK カラフル！～世界の子どもたち～「私のことばで伝えたい」

(15分圧縮版 2021年再放送済) つどい参加小6女子(撮影当時学年、神奈川県藤沢市在住)  
どもることの友達への打ち明け、クラス授業、自宅・帰宅風景など

<https://kitsuon-tsukiau.org/blog/archives/1172>

## ●大学生や中学生の(時の)体験談

・スタッフ 先崎翔吾「本当の人生」全文 於 2012年8月はじめのいっば

<https://kitsuon-tsukiau.org/blog/archives/465>

・スタッフ 原 空留未「ともにー吃音と生きるー」全文

2009年 小平市教育委員会主催 小平市中学校生徒意見発表会(当時中学2年)

<https://kitsuon-tsukiau.org/blog/archives/722>

上記二つ、合同出版『ことばの不自由な人をよく知る本(2023年1月発行)』P.80に抜粋掲載

## ●バイデンさんの体験からの気づき (第88回つどい,2021年6月)

我々と同じ吃音のジョー=バイデン元大統領の体験 (US the Atlantic誌) をつどいスタッフが、  
分担し日本語訳したものを紹介し、その後、グループごとに話し、深め合いました。

つどい勉強会資料⇒ <https://kitsuon-tsukiau.org/blog/archives/1181>

## ●入学試験の面接への心構え

(スタッフ・参加者の体験談4編)

<https://kitsuon-tsukiau.org/blog/archives/69>

## ●大学生の就活心構え・準備

(p.4「面接の動揺」体験談、第89回つどいレポート)

[https://kitsuon-tsukiau.org/wp-content/uploads/24\\_02\\_1.pdf](https://kitsuon-tsukiau.org/wp-content/uploads/24_02_1.pdf)

## 第66回 小中高校生の吃音のつどい お料理教室

於 東京都豊島区立池袋小学校 ことばときこえの教室 2015年3月22日(日)  
合同出版『ことばの不自由な人をよく知る本』p.76「共生社会に向けた当事者たちのとりくみ」で紹介



# 佐藤隆治 プロフィール

- ・ 1960年3月1日生まれ @大阪府堺市
- ・ 1969年 **小学4年時（9歳）**で突然、**吃音が始まる**  
⇒中学・高校・大学・社会人と悩みの質が変わる
- ・ 1979年4月 京都**大学**工学部精密工学科入学  
**落語研究会**に入部（芸名；道楽亭丸八,まるはち）  
**京都言友会（成人吃音のセルフヘルプグループ）**に参加・入会  
森田療法 生活の発見会学習会に数回参加
- ・ 1983年3月 京都大学工学部精密工学科卒業  
4月 本田技研工業 本田技術研究所**就職勤務**  
**（自動車等次期モデルの機械設計・エンジニア）**  
（埼玉県朝霞市、和光市、栃木県芳賀郡の各研究所に勤務）  
7月 **東京言友会**に参加・入会  
事務局長、**東京都吃音者講習会(都福祉局委託事業)主担当**等,経験
- ・ 1986年8月 **第一回吃音問題研究国際大会** @京都 関東地区世話人を担当
- ・ 1998年6月 **小中高校生の吃音のつどい 第1回目**を開催  
**（関東圏のことばの教室の先生方とのコラボレーション形式で、2024年 第90回に至る）**
- ・ 2000年8月 全難言「はじめのいっぽ」での講師、ほぼ毎年送り出し
- ・ 2007年8月 **全難言東京大会 第12分科会（連携）**で発表  
**（池袋小 松村玲子先生、千代田小 児嶋和子先生と協働発表）**
- ・ 2022年3月 本田技研工業 栃木研究所 62歳定年退職
- ・ 2024年3月 跡見学園女子大学**大学院 臨床心理学科 修士課程入学**  
**臨床心理学の視点から、吃音研究を始める**

## 小中高校生の吃音のつどい代表 佐藤隆治（たかはる）紹介文

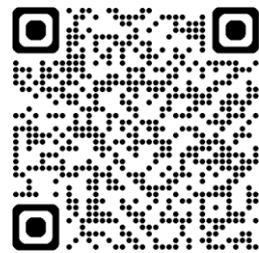
小学4年生の時、突然どもるようになりました。以降、中学生、そして特に高校生の時期が最も辛い時期でした。吃音のせいで、友達と話せない・積極的に勉強も活動もできないと考えていました。そして吃音を治したい・治さなければ自分の人生は無意味という思い込みで陥っていました。消極的にしか生きていない不本意な日々を打ち破りたいのですが、打ち破れず、悶々としてしていました。

大学進学してからは、清水の舞台から飛び降りるつもりで、**落語研究会**に入部しました。もう治らないだろうと感じてはいましたが、ひょっとしたら…という思いもありました。また社会に出る前に、治るか治らないのかを見極め、そしてもし治らないのならば、如何に生きていけるのか？生きていけば良いのか？を探りたかったからです。人一倍練習しましたが、その結果は皆様方でお感じください。

「**吃音者宣言**（たいまつ新書）」の著作や新聞等でその存在を知った、成人吃音者の**セルフヘルプグループ**である、**京都言友会**にも入りました。

大学では工学部、機械工学科で学んだので、その専門性を生かせる本田技術研究所（株式会社 本田技研工業の自動車部門の研究所）で、62歳まで働きました。その中、二足のわらじで、「**小中高校生の吃音のつどい**」を、関東圏のことばの教室の先生方との協働で、四半世紀続けてきました。

家族は、妻と一男二女。3人とも結婚して孫が4人。どもることを「治す」「症状を減らす」「改善する」ではなく、どもることは自身にあるもの・無くせないもの・無くさない方が良いものとして受け止め、「どもることと付き合う」という視点が妥当だと気付けてはじめて、自分らしい生き方ができるようになったと感じています。



↑詳しいことはこちら  
をご覧ください。

# 専門的相談を より多くの方に

女子大学の特徴を活かし

主に子供、青少年、女性に関連する

ご相談をお受けしています

## 完全予約制

お電話にてご予約ください。

\*成人男性のみのご相談はお断りしております。

↑男性のことばの教室の先生が、佐藤に、下記相談する場合はお受けできます。

新座

048-478-2177

9時～16時(月～土曜日)

最寄り；JR武蔵野線 新座駅北口  
からバス7～15分(バス代無料補助)  
一度に最大6人まで

文京

03-3944-8151

13時～16時(木・土曜日)

最寄り；東京メトロ  
茗荷谷駅徒歩2分  
一度に最大4人まで

小中高校生の吃音のつどい 代表 佐藤隆治  
跡見女子大学大学院 臨床心理学科 修士課程2年  
心理教育相談所で、実習生として相談を担当します。

佐藤 担当可能 相談内容(2026年3月末まで)

- ・ことばの教室の先生方へのコンサルテーション(吃音のお子さんやそのご家族への対応の相談など)
- ・吃音のお子さんやそのご家族の相談(ことばの教室卒業生も可)